

北摂フォトロゲイニング2022
2022年12月4日(日)

得点	写真	紹介文
15		清丸地蔵尊 住宅の間にひっそりとたたずむお地蔵さん。
16		花の井(山下水) 能因法師が日常生活に使用していたと伝わる井戸。別名山下水(やましたみず)。能因法師の歌中にも詠まれている。
17		上宮天満宮 一の鳥居と灯籠 菅原道真を祀る天満宮の中でも大宰府に次いで2番目に古いとされる神社。山崎の戦いの際には、秀吉が参道に本陣を置いた。 市街地にある一の鳥居と狛犬を入れて撮影。
18		夜啼石 磐手杜神社にある石。高槻城主永井近江守の老臣長田文八郎が境内にあった奇石を自庭に持ち帰るが、毎夜「あま(安満)えいのう、あま(安満)えいのう」と鳴くので元の境内に戻したという。
19		屋神車塚古墳 墳丘の下を府道のトンネルが通る全長60m、後円部径30mの前方後円墳。前方部の発掘調査では、犬や猪、角笛をもった狩人等の埴輪が出土。 説明用看板を入れて撮影。
20		日吉神社(古曽部町) 戦国武将の荒木村重によって創建され、長きにわたって古曽部の地主神として祀られてきた神社とされる。現在の社殿は慶長19年(1614年)に再建されたもの。
21		真如寺 浄土宗の寺。創建は不詳。本尊は阿弥陀如来で、本堂の前には松尾芭蕉の句碑が立っている。
25		春日神社(成合北の町) 創祀・創建年代は不詳。社伝によれば、岩・日下部の両氏が兵庫浦より御神体を供奉し、高取山の瑞光石に鎮祭したという。 鳥居を撮影。
26		梶原一里塚跡 江戸時代の西国街道絵図には、塚前に茶店があったことなどが描かれている。現在は、水害を逃れて淀川沿いから移されたという「水あがりの地蔵さん」を祀る堂が建つ。 この堂と説明板を入れて撮影。
27		安満宮山古墳 邪馬台国の時代の1辺20mほどの長方形墳。魏の年号「青龍三年」銘鏡や三角縁神獣鏡を含む青銅鏡5面などが出土。魏から卑弥呼に贈られた銅鏡百枚の一部ともみられている。 銅鏡のレプリカとガラスシエルタを入れて撮影。
28		服部連塚 住宅に囲まれた円墳。5世紀中頃に全国の織部を統率した服部連(はっとりむらい)の墓と伝えられている。近辺の地名「服部」は「はたおりべ」由来とされる。 石碑と灯籠1つを入れて撮影。
29		三好大明神 太閤道ハイキングコースにある祠。

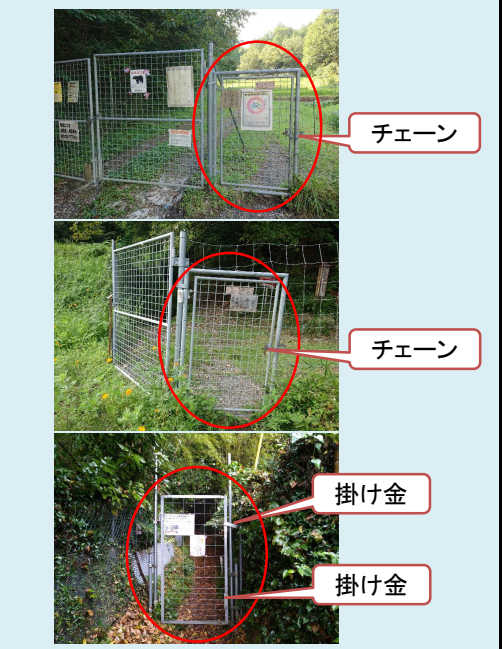
写真には、撮影者以外のメンバー全員を入れて撮影してください。(個人クラスは除く。ポーズは自由。)
紹介文は一般的な説明であり、その他に諸説あるものもあります。

得点	写真	紹介文
30		鶴殿蔭の原 鶴殿は、蔭(葦)や萩などが群生する淀川河川敷の一角。「鶴殿の蔭」は雅楽の吹き口、日よけや宇治茶の覆いなどに使われ、高槻の特産品のひとつであった。1875年に開始された淀川改修100周年を記念して建立された碑を撮影。
31		展望所 悠久の丘から太閤道ハイキングコースに登るルートの途中にある。ベンチもあって、天気によければ六甲山系まで展望できる。 誰が置いたかわからない多数の奇妙な飾りを入れて撮影。
32		安岡寺 叶観音堂 如意輪観音を本尊とする天台宗系の寺。775年開成皇子の創建と伝えられる。木造千手観音坐像は国の重要文化財。 篤志家の寄贈による聖観音菩薩像が安置されている叶観音堂を撮影。
33		宝城庵 臨済宗大徳寺派。創建は不詳。天文年間(1571年)に僧・明が現地に庵室を作り宝城庵とよび、このときより禪宗に。その後寛永年間に僧・榮室が再興し現在に至る。 門の手前西側にある説明碑も入れて撮影。
34		高浜砲台跡 江戸時代末期に、大坂湾から侵入する外国船に備えて、対岸の楠葉砲台とともに築かれたもの。実際の砲台は淀川河川敷にあったが、淀川改修のため壊され、今はヨシの群生地となっている。
35		水無瀬神宮 鎌倉時代に、後鳥羽、土御門、順徳三天皇の御霊を弔うために後鳥羽天皇縁の水無瀬の地に建立された神社。 鳥居を撮影。
36		弁天山古墳 全長100m、後円部の直径は隣接する岡本山古墳と同じ70m。3世紀末ごろの築造と推定される。現在は配水池がある。 階段を入れて撮影。
37		水無瀬の滝 天王山断層によって落ち込んだできた高さ約20mの滝。古くから歌にも詠まれ、後鳥羽上皇も觀賞された記録が残っている。
38		トナカイのモニュメント 竹林に存在する場違いなモニュメント。地主の方が好きで制作して置いたとのこと。トナカイの銘も深い意味はないらしい。
39		原八景 河原夕照 「河原夕照」は、瀟湘八景の「漁村夕照」になぞらえ、夕日に照らされた芥川の河原を詠んだもの。 下條橋から北側の風景を撮影。
40		椎尾神社 サントリー山崎蒸溜所の奥にある。746年に行基により創建され、千手観音を本尊とする天台宗の寺であったが、廃仏毀釈により廃寺、1872年に改称して神社に。
41		塚脇C7号墳(帯仕山の古墳) 6世紀末頃に築かれた直径9.5mの円墳。塚脇古墳群約50基のうちのひとつ。昭和56年に発掘され、人骨の一部、装身具や食器が発見されている。 石室への入口を撮影。

得点	写真	紹介文
42		山口誓子句碑 摂津峡の園路沿いにある句碑。昭和42年に建てられたもので、「流螢の自力で水を離れ飛ぶ」と刻まれている。
43		芥川山城 大手門石垣 初代城主は能勢頼則、1553年には三好長慶が城主となる。信長の侵攻後は、和田惟政や高山右近らが入城。三好山の林内にはこの石垣の他、土塁、堀切などが点在。まさに兵どもが夢の跡。 南側から撮影。
44		牛地蔵 神峰山寺への参道入口に鎮座する牛の姿をした地蔵。京坂越えて荷物を運んだ牛の苦労をねぎらうため、天保4年(1833年)に地元有志が建立。
45		宝積寺 一夜之塔 山崎の合戦で亡くなった人を弔うため、秀吉が一夜で築いたと伝わる三重塔。宝積寺は、727年に聖武天皇の勅願寺として僧・行基が開創したと伝わる。
46		圓證寺 集落内にある真宗大谷派の寺。本尊は阿弥陀如来。
47		雨乞いの岩 地元では民話として受け継がれている。ハイカーには知られたポイント。
48		若山神社 701年行基が文武天皇の勅命を受けて勧請したものと伝えられる。楠木正成が桜井で嫡男正行に別れを告げた際に、重臣を代わりとして参拝させたといわれる。桂川、宇治川、木津川の三川合流地点なども眺めることができる。 本殿を撮影。
49		神峯山寺 仁王門 神峯山寺は天台宗の古刹。役行者が開祖、中興の祖は開成皇子。本尊である三体の毘沙門天は秘仏。日本で最初に毘沙門天が安置された霊場といわれている。 南側から撮影。
50		山崎聖天 正式には観音寺という。本尊は十一面千手観音。歓喜天(聖天)が祀られており、山崎聖天の通称で信仰を集めている。桜と紅葉の名所としても有名。 本堂を撮影。
51		十方山 山頂 大阪と京都の府境に位置する標高304mの山。かつて天王山にあった三角点がこの場所に置かれた山として知られる。
52		山崎城の井戸跡 山崎の戦い直後から、秀吉が天王山山頂一帯に築城した山崎城の一角に設けられた円形石積み井戸。山頂にあることから、地下水が湧き出るとは考えにくく、雨水をためて利用したと思われる。
53		岩神神社 成合春日神社のご神体として祀られている巨岩がある。 祠も入れて撮影。

得点	写真	紹介文
54		休憩所 ハイキングコースの途中にある休憩所。 倒木(?)を組んだベンチを入れて撮影。
55		ハイキングコース 分岐の道標 天王山ハイキングコースの北部にある道標。休憩所にもなっている。 3方面への案内が映るように道標を撮影。
56		新大阪ゴルフクラブの看板 新大阪ゴルフクラブの進入路にある看板。ゴルフ場はまだまだ先。車に注意。 看板を入れて撮影。
57		岩 ハイキングコースの途中にある、まるで一刀両断されたような岩。 岩の切れ目を入れて撮影。
60		釋恩寺 天平年間に僧・行基が創建したと伝えられる寺。現在は別の場所に移転している。 石碑と説明碑、石段を入れて撮影。
66		諏訪神社 武御名方神を祭神とする川久保地区の氏神様。社伝によれば、880年に信州諏訪神社の分霊を勧請したといわれる。社頭には、ケヤキの古木もある。 社殿と鳥居を入れて撮影。
68		ボンボン山 林道記念碑 林道ボンボン山線の起点近くにある記念碑。谷沿いの林道の上部は、2018年の台風21号による倒木などでいまだに通行止。
69		乗願寺 浄土谷にある浄土宗の寺。本尊阿弥陀仏は藤原後期の代表作。境内や門前ではたくさんの猫が気だるそうにゴロゴロしている。 本堂を撮影。
79		119番 通報ポイントB-12 分岐にある通報ポイント。 B-12の標識を撮影。
82		柳谷観音 楊谷寺 眼病平癒の祈願所として、平安時代より天皇家公家を始めとする眼病に悩む人々に信仰されてきた。「花手水」発祥の寺。あじさいや紅葉の隠れた名所でもある。 石段下から山門を撮影。
119		大沢のスギ 高さ約20m、樹齢約800年。大阪府の天然記念物。地元ではご神木として大切にされてきた。ラスボス感があるとの感想も。

獣の侵入防止ゲートについて
競技エリア内には、獣の侵入防止ゲートが複数あります。地図に記載したゲートについては、扉を開けて通過可能ですが、通過後は**必ず扉を閉めてチェーンまたは掛け金をかけてください。**



得点	場所名	表の見方
77	池	高層住宅が近くにありますが、自然豊かな公園です。中央付近に龍?をかたどったオブジェがあります。 南西を向いて撮影。
撮ってほしい写真。 撮影者以外のメンバー全員を入れて撮影してください。		
説明文です。 赤字 は重要事項につき注意。		

2022点満点。制限時刻を過ぎると、1分ごと(秒は切り上げ)に減点100点、30分以上の遅刻で失格です。
20分以上遅刻しそうな場合は次の緊急連絡先に連絡してください。 090-4299-2997(よこた)